

新みらい

第6号

平成24年1月 新春号

主な内容

平成23年

9月議会/12月議会
要旨報告

討議資料

発行責任者/中田 潤 編集責任者/三浦 英一

復興支援と秋田再生のため 本年も全力で頑張ります!



ささえあおう東北!!



秋田県議会 教育公安委員会
副委員長

渡部 英治

[大仙市仙北郡]



2012年の新年を迎え、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年は豪雪にはじまり、未曾有の被害となった大震災。そして、集中豪雨による河川の氾濫や地滑り被害等、多くの災害が発生した年でありました。

一方、県政を取り巻く状況は大震災の影響などにより、経済雇用・農業政策等の課題が山積しております。

私たち新みらいは、県議会第2会派として、今年こそは災害のない明るい話題の多い年とすべく、復興支援と秋田再生のため全力で取り組んでまいります。

会派「新みらい」は、どの政党にも所属しない
無所属の議員で構成されております。

引き続き、ご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。新年のごあいさつと致します。

[会派一同]



中田 潤 (能代市)



土谷 勝悦 (横手市)



安藤 豊 (湯沢市雄勝郡)



三浦 英一 (由利本荘市)



こだま 祥子 (湯上市)



三浦 茂人 (秋田市)

絆

9月県議会

〈会期：9月9日～10月4日〉

●国際教養大学東アジア調査研究センターの運営助成費1,000万円を計上

このセンター助成費に関して、民主党といぶきが提出した1,000万円を減額する修正案を賛成少数で否決した後、県当局の原案を賛成多数で可決した。

原案には、自民党、新みらい、社民党、いぶき、県民の声、公明党が賛成、民主党、共産党が反対した。

尚、提出した修正案が否決されたいぶきは、他の事業案に異論がなかったことなどから賛成に回った。

一般質問 三浦茂人

- ◆ 卸売市場の機能について
- ◆ 秋田内陸縦貫鉄道の現状と今後について
- ◆ 伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録への取組について
- ◆ 大規模製材工場建設の事業計画の妥当性について
- ◆ 新行財政改革大綱等について

総括審査質問 渡部英治

- ◆ 東アジア調査研究センターについて
- ◆ 災害廃棄物の処理対応について
- ◆ 秋田内陸縦貫鉄道について

9月議会で可決された主な議案

一般会計補正予算 **46億8,009万円**

- 東日本大震災への対応費 …………… **11億1,956万円**
- 県内の防災体制整備費 …………… **1億7,800万円**
- ふるさと元気創造プラン …………… **8億8,375万円**
(除雪などの地域支え合い活動)

● 6月23日～24日に由利本荘市などで発生した集中豪雨被害の河川改修等 **7億1,157万円**

● 県や市町村で168人の新規雇用への雇用対策事業に **2億2,083万円**を計上

12月県議会

〈会期：11月29日～12月22日〉

今回の議会は、岩手県からのがれき受け入れ問題について、一般質問や常任委員会、総括質疑で知事はもとより県当局と、放射性セシウム濃度の基準など、秋田県民の安全、安心のための議論を活発に展開した。



道路脇にはまだ見渡す限りのがれきの山
(平成23年10月現在の様子)

一般質問 三浦英一

- ◆ 震災がれきの受け入れ問題について
- ◆ 豪雪対策について
- ◆ 集中豪雨による河川改修について
- ◆ セイタカアワダチソウの駆除について

総括審査質問 中田潤

◆ 被災地のがれき受け入れについて
渡部英治

- ◆ 被災地のがれき受け入れについて
- ◆ 住宅リフォーム緊急支援事業について



12月議会で可決された主な議案

一般会計補正予算 **19億7,246万円**

- 東日本大震災への対応 総額 …………… **3,856万円**
 - ・ 放射性物質検査体制整備事業 …………… **170万円**
 - ・ 災害救助対策費 …………… **3,685万円**
- 果樹産地再生支援 …………… **2,557万円**
- 医療施設耐震化整備事業 …………… **10億4,862万円**
(債務負担行為設定分)
 - 対象病院
 - ・ 仙北組合総合病院 (災害拠点病院)
 - ・ 中通総合病院 (2次救急医療機関)
- 住宅リフォーム緊急支援事業 …… **1億7,550万円**
工事費50万円以上に10%補助 (限度額20万円)
対象戸数12,000戸→13,900戸に拡大

追加提案 一般会計補正予算 **114億3,255万円**

※今回の追加補正予算は、国の補正予算を活用した公共事業及び基金造成等を計上。



精力的に行動する 会派「新みらい」 【平成23年8～12月】

新みらいでは、先進事例等の実地調査と東日本大震災の被災地で現地調査を行ったほか、政策提言「秋田再生フォーラム2011」の開催や「知事と語る会」、「秋田市議会議員との意見交換会」などを企画・実施しました。



秋田再生フォーラム2011

● 講演会の開催と積極的な政策提言

〈平成23年9月22日／秋田市 キャッスルホテルにて〉

「秋田再生フォーラム2011」

第一部 「次世代エネルギーを語る」 講師 武田 邦彦 氏

第二部 「新みらい」からの7つの政策提言

- 秋田内陸縦貫鉄道の再生について
- 日沿道全線開通に向けた秋田・山形・新潟3県連携
- 高校生メディカルコースの設置について
- ガン研究所の設立について
- 県内工業団地誘致戦略
- 男鹿温泉ホテル活用 カジノ構想について
- 環日本海構想について

● 「知事と語る会」を開催

〈平成23年11月1日／秋田市 キャッスルホテルにて〉

知事と新みらいのメンバーが震災復旧・復興、医療、観光などについて意見交換。



知事と語る会

● 「秋田市議会議員と会派新みらいとの意見交換会」を開催

〈平成23年12月15日／秋田市 ルポールみずほにて〉



秋田市議会議員11名と、がれき処理や地域防災、中心市街地の活性化、教育振興などについて意見交換。

● 青森～函館を視察 〈平成23年8月8日～10日〉

◆ 青森県横浜町漁業協同組合

特産ナマコの資源管理

◆ ユーラスエナジージャパン青森支店

風力発電

◆ 海上自衛隊大湊地方総監部

3.11 東日本大震災での離島支援

◆ 大間原子力建設所

施設の概要（工事中止中）

◆ 函館市議会

ソウル便への取組について



函館市議会



海上自衛隊大湊地方総監部

● 宮城県の被災地を視察 〈平成23年10月11日～12日〉

女川町・仙台空港・名取土地改良区を視察

● 女川町

安住町長（当時）、町議会議長と面談。がれき処理、仮設住宅等の状況を実査。西馬音内盆踊り派遣申し出に歓迎の意。→11月実現。多数の町民の皆様が観覧。

● 仙台空港

仙台空港ビル屋上から災害復旧状況等を視察。

● 名取土地改良区

排水機場や農地の被害状況を実査。



名取土地改良区
海拔0m地帯で強制排水不能に陥った



仙台空港



女川町被災地視察

渡部 英治の 県議会レポート

今回は、12月議会総括審査における
質疑の概要について紹介します。



12月議会 総括審査

質問者席

●被災地のがれき受け入れについて

渡部 がれき受け入れについては、4つのキーワードがある。

① 安全
(検査体制)

② 調整
(協議等)

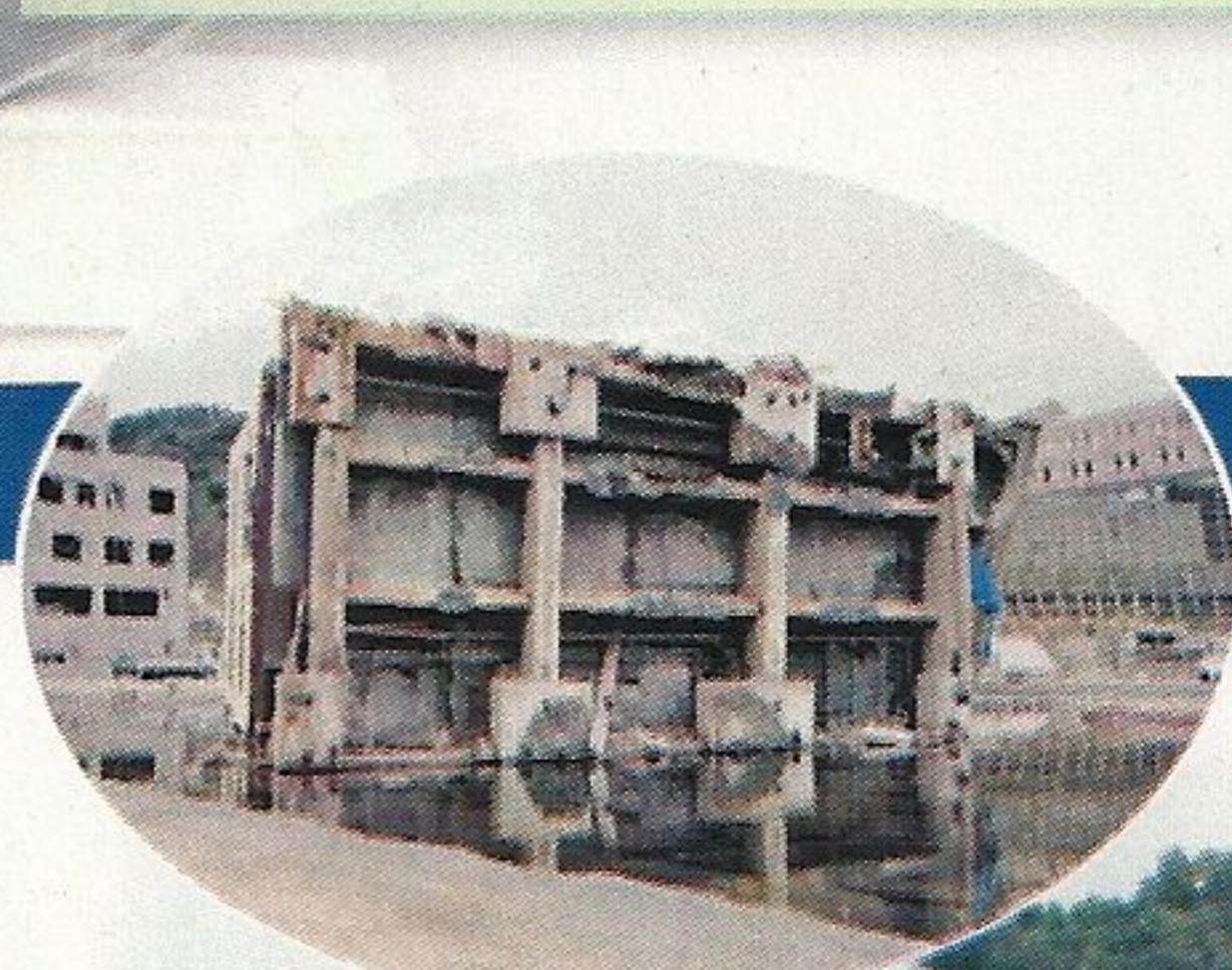
③ 費用
(基金運用等)

④ 責任
(決断力)

いずれにしても、復興支援のため市町村と協働での対応が不可欠であり、決め手は「知事の腹一つ」と言えるが、知事の覚悟は。

知事 何かあったら、いつだって知事を辞めてもいい。そのぐらいの腹で知事をやっている。

受け入れを前提に協議するというのは、受け入れるという意志表示だ。最終的に県民の安全安心を守るのも知事の責任だ。



被災地には震災の傷跡が今なお残る



被災地視察（10月11日／宮城県女川町）

●住宅リフォーム緊急支援事業について

渡部 今回1,300戸分、1億7,550万円の補正があり、トータルで13,900戸の18億7,893万円の補助額となり、県内経済の下支えに大きく寄与し、大変な効果が出ていると認識している。

また、来年度も継続する方針が示されたことは、非常に良かったと思う。

しかし、限度額を20万円から15万円に下げる検討がされていることは、せっかくの効果と好評を得ている事業が中途半端となり、かえってイメージダウンになるのでは。是非、現在の水準で継続をすべきでは。

知事 県内経済への波及効果が大きいことから、24年度も現行水準の限度額20万円を維持しながら継続したい。



渡部 英治

教育公安委員会にての質疑